

平成 29 年度 第 5 回
「地盤工学会誌」編集委員会 運営委員会
議事録

(12.20 版)

日 時	平成 29 年 12 月 18 日 (月) 14 : 30 ~ 17 : 00
場 所	地盤工学会 (JGS 会館) 会議室

出席者 (敬称略) 出席予定 : ○ (本部), ● (電子) 欠席予定 : × 未定 : 無印

会 務	氏 名	出欠	会 務	氏 名	出欠
理事・編集委員長	石川 達也	○	企画・編集G委員	浅野 将人	×
編集副委員長	鈴木健一郎	○	企画・編集G委員	岡本 道孝	○
企画・編集グループ主査	福永 勇介	○	企画・編集G委員	金澤 伸一	×
第 I G 主査	正田 大輔	○	企画・編集G委員	木内 大介	×
第 II G 主査 (長澤主査代理)	小林 孝彰	○	企画・編集G委員 (シニア)	久保 博	×
第 III G 主査	森 友宏	○	企画・編集G委員	藤原 優	×
第 IV G 主査	鎌田 敏幸	○	企画・編集G委員 (学生主査)	松村 聡	○
講座委員長	野田 利弘	×	企画・編集G委員 (学生担当)	牛塚 太基	○
講座委員会・幹事	中村 邦彦	○	企画・編集G委員 (学生担当)	加島 寛章	×
北海道支部委員 (企)	川口 貴之	×	企画・編集G委員	山中 光一	×
東北支部委員 (II)	荻野 俊寛	×	学生編集委員 (北海道)	小笠原明信	×
北陸支部委員 (I)	大竹 雄	×	学生編集委員 (東北)	畑下 侑輝	×
関東支部委員 (企)	渡邊 諭	×	学生編集委員 (北陸)	大木 拓馬	×
中部支部委員 (IV)	酒井 崇之	×	学生編集委員 (関東)	那須 郁香	×
関西支部委員 (II)	木元小百合	×	学生編集委員 (中部)	沖野 頌悟	×
中国支部委員 (III)	中村 公一	×	学生編集委員 (関西)	伊藤 真司	○
四国支部委員 (I)	野々村敦子	×	学生編集委員 (中国)	渡上 正洋	×
九州支部委員 (III)	古川全太郎	●	学生編集委員 (四国)	林 聖淳	×
			学生編集委員 (九州)	伊藤 裕孝	×

本日の議事録担当委員 : 正田主査 (次回以降の予定 : 長澤主査→森主査→鎌田主査)

議 題 :

1. 前回議事録(案)の確認

- 1) 運営委員会議事録(案) (10/6) (鎌田主査/メール配信済 10.13) (別紙-1) pp.1-3
 ⇒承認された。

2. 全体関係

- 1) 公益出版部会(11/15) , 理事会(10/27, 11/24)の報告 (石川委員長) (別紙-2) pp.4-14
 ⇒石川委員長より説明がなされた。質問があれば、メールで連絡することとした。
- 2) 31 年特集テーマ (案) について (審議) (福永主査) (当日資料-1.1, 1.2)
 ⇒福永主査より、31 年特集テーマの集計結果について説明があった。石川委員長と、鈴木副委員長、各委員の意見により、以下の 10 課題が採用された。また、31 年へ持越しとなった「国内外の基準」についても採択となった。
- ・分類番号 14 AI/ビックデータ
 ビックデータについては、ボーリングデータや地盤情報 DB 等のテーマがあり、採用された。AI については、地盤工学分野への利用について記載できれば記載することとした。
 - ・分類番号 25 陥没/空洞化
 博多等近年の事故が話題となっているが、調査・研究も行われており採用された。
 - ・分類番号 30 他分野とのコラボレーション
 分野を絞らずに記事を集めることとした。宇宙や河川工学分野等のトピックが挙げられた。総説は会長に執筆いただく予定とした。第 III G 主査 森先生の担当予定とした。
 - ・分類番号 22 地盤物性→不飽和土とすることとした。
 浸透・力学の両方の話題を扱うこととし採用された。第 III G 主査 森先生の担当とした。
 - ・分類番号 17 リスクマネジメント/アセットマネジメント
 災害を含めた地盤・斜面のリスクの内容とすること採用とした。

- ・分類番号 20 室内試験
室内土質試験の国際統一化や青本の改訂等のトピックが挙げられ、採用された。
 - ・分類番号 10 緑化
近年取り上げられていないテーマであり、採用された。
 - ・分類番号 49 廃炉地盤工学
廃炉地盤工学委員会も発足しており、採用となった。
 - ・分類番号 32 抗土圧構造物
補強土を含めることとし、採用となった。
 - ・分類番号 11 気候変動
豪雨や再生可能エネルギーも扱うこととし、採用となった。
- ⇒各テーマの担当とテーマの順番については、メール審議で決定することとした。

3. 「地盤工学会誌」進捗状況について

1) 全体の進捗状況 (事務局) (別紙ー3) p.15

⇒事務局より3月号のハザリカ先生の記事以外は特段遅れないとの報告があった。

4. 担当グループからの報告および検討事項

1) 企画・編集グループ

①学生編集委員会について (松村学生主査)

・30年記事(案)進捗状況 (別紙ー4.1) p.16

⇒松村主査より報告され、承認された。

・記事(案)(審議)

*6月号(沖野委員) (別紙ー4.2) p.17

⇒松村主査より報告され、承認された。

*7月号(伊藤(真)委員)

⇒伊藤委員より報告され、承認された。 (別紙ー4.3) p.18

・取材交通費について (別紙ー4.4) pp.19-20

⇒事務局より学生の交通費について報告され、学生記事の見学については交通費が千円に満たない場合でも支給されることとした。また、運営委員会への出席について、往復交通費が千円に満たない場合は旅費支給規定第14条に則り、他の委員と同様に支給しないこととした。

②特集記事以外の記事案について (福永主査)

・30年担当委員・進捗状況 (当日資料ー2.1)

⇒福永主査より報告された。

・記事(案)(審議)

*H30年5月号(金澤委員・川口委員) (当日資料ー2.2)

⇒福永主査より報告され、記事が商品紹介になっていないか確認するようにとの意見が出された。

*H30年6月号(山中委員・久保委員) (当日資料ー2.3)

⇒福永主査より報告され、承認された。

③「自由投稿原稿」について (事務局)

・進捗状況 (別紙ー5.1) p.21

⇒事務局より報告された。

・投稿概要(9/8メール審議採用決定分 No.1433) (別紙ー5.2) pp.22-28

⇒森主査よりNo.1433について状況の説明がされた。

④その他の投稿記事 (事務局)

・学会の動き(ISOだより-150, 151) (別紙ー6.1) pp.29-31

・海外の動き(30-1, 30-3) (別紙ー6.2) pp.32-33

・資料(657(29-11・12), 658,659(30-1), 670,671(30-2 予定)) (別紙ー6.3) pp.34-39

⇒事務局より報告された。

⑤「読者モニター」について (事務局)

・29年8~10月号:アンケート結果 (別紙ー7) pp.40-54

⇒事務局からメール審議をすることとした。

2) 第1グループ (正田主査)

・平成30年5月号について:構成案 (別紙ー8.1) pp.55-56

⇒正田主査より報告が行われ、確認された。

・平成30年9月号について:構成案 (別紙ー8.2) p.57

⇒正田主査より報告が行われ、確認された。

3) 第2グループ (長澤主査)

・平成30年3月号(ソウル会議)について:目次案

(別紙-9.1) pp.58-59

⇒小林主査代理より報告が行われ、確認された。

・平成30年6月号について:構成案

(別紙-9.2) pp.60-61

⇒小林主査代理より報告が行われ、ページ数が規定より超過していることから、報告①の取り下げと報告④、⑦、⑧の統合についてグループ内で再検討することとした。

4) 第3グループ (森主査)

・平成30年2月号について:目次案

(別紙-10.1) p.62

⇒森主査より報告が行われ、確認された。

・平成30年7月号について:構成案

(別紙-10.2) p.63

⇒森主査より報告が行われ、確認された。

・平成30年10月号について:趣旨文案・構成案(2月号に公募予定)

(別紙-10.3) pp.64-65

⇒古川委員より報告が行われ、確認された。

5) 第4グループ (鎌田主査)

・平成30年4月号について:構成案

(別紙-11.1) pp.66-67

⇒鎌田主査より報告が行われ、確認された。

・平成30年8月号について:構成案

(別紙-11.2) p.68

⇒鎌田主査より報告が行われ、確認された。

・平成30年11月号について:構成案(3月号に公募予定)

(別紙-11.3) p.69

⇒鎌田主査より報告が行われ、確認された。総説は東北大 風間先生へ依頼することとした。趣旨文を変える場合はメール審議することとした。

5. 講座委員会から (中村講座幹事)

・講座の進捗状況(報告)

(別紙-12) pp.70-71

(当日資料-3)

⇒中村幹事より報告が行われた。講座原稿執筆要領について2点の変更について報告があり、確認された。

6. その他

1) 29年度 優秀賞選定について

(別紙-13) pp.72-75

⇒事務局より報告され、2/9の表彰委員会で報告できるか検討することとした。

2) H30年度予算について

(当日資料-4.1, 4.2)

⇒事務局より報告された。

3) 原稿提出遅延の対応について

⇒事務局で協議することとした。

4) 学会誌電子化検討について

(別紙-14) p.76

⇒事務局より報告された。

5) 次回運営委員会予定日:平成30年2月20日(火)14:30~17:00 (28年度:29.2.8)

⇒事務局よりメールで日程調整することとした。

⇒1月22日決定・開催案内配信

《参考資料》地盤工学会誌掲載区分

(参考資料) pp.1-4

特集記事の編集の流れ

pp.5-6

学生記事の編集の流れ

pp.7-8

一般記事(特集記事・学生記事以外)の編集の流れ

pp.9-10

「地盤工学会誌」審査要領

pp.11-19

<年間の開催予定> (年6回)

4月, 7月(研究発表会にて全体委員会), 9月, 10月, 12月, 2月

[開催時期は27年度より変更]